

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

大阪市立田川小	学校	児童数	49名
---------	----	-----	-----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	18.64	19.50	33.82	38.23	43.59	9.59	150.73	23.59	53.09
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	17.59	16.93	35.63	38.22	32.63	9.68	139.33	13.74	53.15
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

「運動やスポーツをすることが好きですか」の質問に対する肯定的回答の割合は、男子は95.4%、女子は88.8%である。休み時間には、ほとんどの児童が運動情に出ており、走ったり、ボールを投げたり、縄跳びをしたりしてよく体を動かしている児童が多い。また体力合計点は、大阪市平均を男子は1.96女子は0.68を上回って状況でほぼ大阪平均と並んでいる。しかし、1週間の総運動時間が60分を下回る割合は、男子が18.2%、女子が25.9%個人差があることがわかる。

男女ともに、目標を持って数値を伸ばしている児童も多く、まじめに取り組む姿がよく見られた成果である。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

本校では、体育の授業を中心に、進んで体動かす子どもの育成に取り組んでいる。体育の授業の初めに、音楽に合わせて基礎的な体の動きを身に付けられる運動に取り組み、しなやかな筋力を全身にバランスよくつけ、柔軟な動きをスムーズにできるように動きを工夫している。駆け足や縄跳び運動に関しては各学年が児童の実態に合わせた頑張りカードを活用している。児童アンケートの「体育の時間が好き」と言う肯定的回答が多いので、基礎的運動能力を向上させるために取り組みを継続する。運動の習慣化を図るために休み時間には教員も鬼ごっこや縄跳び遊びを一緒にして遊ぶことで、児童が楽しみながら運動習慣を身に付けられるように努めてきた。その結果、休み時間に学級のみんなと一緒に体を動かす子供が多く見られるようになっていった。新体力テストも全学年実施し、その記録を体力、個人カルテに入力することで自己の記録を更新しようと一人一人がめあてを持って体づくりに取り組んでいる。継続的な取組みを家庭にも働きかけ、児童の体力向上に適切に取り組む。